

まいばら農業塾 野菜販売



12月9日、道の駅近江母の郷で、まいばら農業塾の販売実習が行われました。まいばら農業塾は無理なく始める新しい農業の入口として、農業人口を増やすためのプロジェクトで、農作物の育て方等の講義や実習が昨年8月から行われています。

今回は販売実習として、塾生が育てたキャベツや大根などおおよそ5品目(12品種)を収穫、袋詰めして道の駅に訪れた人々へ販売しました。

国スポ・障スポ教室を開催



12月1日、令和7年に開催される「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の大会イメージソング「シャイン!!」を制作したyokkoさんが大東中学校を訪れ、全校生徒を対象に手話歌体験を行いました。教室は両大会の機運醸成と思いやりの心を育てることを目的に開催され、生徒は障がい者に対する理解を深め、手話を交えて歌を歌っていました。

県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞



11月16日、市社会教育委員の大谷章さんが、滋賀県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞しました。

大谷さんは、市の社会教育分野に関する調査研究や教育委員会への提言など、地域住民と行政の橋渡し役として活躍し、令和4年度からは、当協議会の副会長として、協議会事業の推進に尽力していることなどが評価されました。

空家等対策促進に向け協定締結



12月21日、市内で空家や古民家を改修したシェアオフィスや宿泊施設を運営する㈱NEOと、空家等対策の促進に関する連携協定を締結しました。

今後、空家等の所有者や活用希望者に対して、適正な管理に向けたサービス体制の構築や情報発信を強化することで、さらなる空家対策を推進します。

ホッケータウンに認定



日本ホッケー協会が選ぶ“ホッケータウン”に米原市が認定されました。本事業は同協会設立100周年を記念し行われているもので、全国で19自治体選ばれています。12月11日には、認定証交付式が行われ、北野妙子副会長から「ホッケーを盛り上げるとともに、教育現場でもホッケーが浸透してほしい」と話されました。

市長コラム 市政言

令和6年元日に発生した能登半島地震では、石川県能登地方を中心に家屋の倒壊、大規模火災、津波など甚大な被害が発生いたしました。この地震によりお亡くなりになられた方々に対し、哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地の一日でも早い復旧に向けて、各機関と調整し、できる限りきめ細やかな支援を行ってまいります。

自然災害の脅威からさらに、ライフラインの確保、避難所の重要性などを認識いたしました。市では、広域避難所への水道管などの耐震化工事を優先して進めており、今後も市民の皆様の安全を守るため、防災対策には万全を期してまいります。

市民の皆さまにおかれましても、水や食料の備蓄、避難場所の確認や家族との連絡方法の共有など、個人でできる災害への備えをお願いします。

米原市長 車尾道雄